

シェアサイクル及びグリーンスローモビリティの運行結果について

本年度本格導入したシェアサイクル「ゆいえん」及びグリーンスローモビリティ「縁結ビークル」の運行結果について、下記のとおり報告します。

記

1 シェアサイクル「ゆいえん」

(1) 実施期間

令和7年4月29日(火・祝)～

(2) 利用回数(令和8年2月末時点)

ポート設置場所	自転車台数	貸出回数
出雲市駅	7台	1,052回
出雲大社前駅	7台	2,062回
みせん広場(R7～)	2台	523回
小田駅	2台	33回
GARB CLIFF TERRACE Izumo	2台	31回
荘原駅	2台	90回
雲州平田駅(R7～)	2台	79回
ご縁広場(実証ポート※1)	1台	34回
合計	25台	3,904回



- ・スマートフォンアプリを使って無人で24時間いつでも利用可能
- ・それぞれのポートに、自由に自転車を貸出・返却可能。
- ・パナソニックサイクルテックの電動アシスト自転車「グリッター」を使用。

(※1) 神在月の11月15日から2か月間、実証ポートをご縁広場に設置。

実証期間外は、出雲大社前駅または出雲市駅に自転車を追加配置。

(3) 利用料金(令和8年2月末時点 合計1,767,210円)

利用種別	1回料金	1日パス
料金体系	最初の1時間 220円 1時間以降 30分毎に110円 1日最大 2,200円	1,500円
利用実績	平均利用時間 105分/回	208枚
利用金額	1,455,210円	312,000円

※1 日パス販売場所 出雲観光案内所、神門通り観光案内所等

(4) 成果と課題(○成果、●課題)

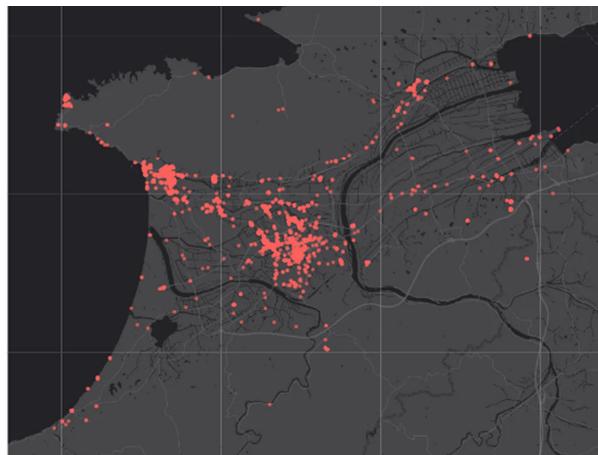
- 当初利用回数目標(2,000回)の約2倍の利用実績があり、二次交通として需要があることが確認できた。
- 約4割が県外の方の利用であり、利用ルートから観光周遊目的の利用が多かったと考えられる。
- 日御碕や湖陵多伎の海岸エリア、斐川、平田エリアでの周遊効果が見られた。

○12月から松江市「ラブチャリ。」との相互利用を開始し、広域での観光周遊の利便性が向上した。

●バッテリー交換や自転車再配置にかかる経費を削減する手法の検討。

・走行ルートマップ【赤線：走行頻度高】

・滞在マップ【赤点：滞在地点】



(5) 今後の方針

- ・ 交通事業者や観光施設との連携を深め、二次交通としての利便性の向上と利用者増加を図る。
- ・ 令和8年4月にリニューアルオープンする旧大社駅への配置を検討する。
(実証ポート活用)

2 出雲市グリーンスローモビリティ「縁結ビークル」

(1) 運行実績

- ・ 運行期間 : 令和7年5月9日(金)～11月30日(日) 約7か月間
- ・ 運行ルート、停留所



※多客期(渋滞対策実施日)は、神迎の道と稲佐の浜を往復するルートで運行した。(計15日)

- ・ 使用車両 : 8人乗り電気自動車(時速20km未満の低速車両) 1台
- ・ 総運行日数 : 72日 (当初計画:119日の約60%)
- ・ 総運行便数 : 482便 (当初計画:1,190便の約40%)

<運行状況>

月	【実績】			計画		備考
	乗車人数	運行日数	運行便数	計画日数	計画便数	
5月	206人	14日	140便	14日	140便	
6月	161人	15日	112便	18日	180便	一部減便・運休
7月	0人	0日	0便	16日	160便	車両改修、点検等のため運休
〈車両点検後対応内容〉 ・断熱材及びサーキュレーター追加によりバッテリー消費節減対策を実施。						
8月	123人	19日	97便	19日	190便	バッテリー消費量から、一部減便して運行
〈9月以降運行計画を一部変更〉 運行日を毎週土・日曜日とし、運行便数を気温の高い9月は1日5便、10月11月は1日6便とした。						
9月	76人	8日	40便	8日	40便	
10月	64人	6日	36便	8日	48便	ワイパー修理のため、2日間運休
11月	77人	10日	57便	10日	60便	大社地域混雑のため一部減便
合計	707人	72日	482便	93日	818便	

(2) 利用実績

総乗車人数 707人 1便あたり平均乗降者数 1.5人

【平均乗車人数/便（月別）】

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1.5人	1.4人	-	1.3人	1.9人	1.8人	1.4人

【料金種別実績】

料金種別	1乗車	1Dayパス	2dayパス	運賃収入合計
料金	500円	1,000円	1,500円	343,500円
利用実績	647件	14件	4件	

(3) 成果と課題（○成果、●課題）

- 観光地における二次交通として一定の利用があることから回遊性向上の可能性を確認できた。
- 車両性能や気象条件に起因する減便・運休が生じた。そのため、PRが十分に行えなかった
- 多客期の渋滞発生に伴い、運行に遅れが生じた日が発生した。

(4) 今後の方針

- ・今後、運休・欠便のない安定した運行計画の検討、具体的なターゲットを設定した広報の実施、縁結ビークルの乗車価値の向上を図り、利用増加を図る。

(5) 令和8年度運行概要（予定）

運行期間：令和8年5月9日（土）～11月29日（日） 1日5便

運行日：毎週 土曜日・日曜日

令和8年3月 運行協議会で決定後、周知・利用促進を図る。

旧大社駅へのルートについても、実証運行を検討する。